

令和6年度 地域福祉フォーラム 実施結果

○令和6年10月5日（土） 志津コミュニティセンター大ホール

13:30～15:30（実績時間）

○来場者数66名（配布した資料の枚数による確認。登壇者、スタッフなどは除く）

○アンケート回収数 40

○当日の内容

（総合司会：小林 眞智子氏（佐倉市民生委員・児童委員協議会会長））

・主催者挨拶 佐倉市長 西田 三十五

佐倉市社会福祉協議会会長 大藏 文子

・来賓挨拶 佐倉市議会議長 敷根 文裕 様

【第1部：両計画の概要報告】

○第5次佐倉市地域福祉計画

佐倉市 福祉部長 山本 淳子

○ともに歩むふくしプラン5（第7次佐倉市地域福祉活動計画）

佐倉市社会福祉協議会 事務局長 深沢 孝志

○地域福祉コーディネーターの取り組みについて

地域福祉コーディネーター 岡本一成 岡本祥子

【第2部：あったかパントリーについて】

コーディネーター：国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野責任者 教授 小林 雅彦 氏

①あったかパントリーができた背景について

佐倉市社会福祉協議会 地域福祉推進グループリーダー 杉山 美枝子

・こども食堂・地域食堂とは？

・あったか食堂ネットワークの概要（設立経緯や現在の加盟食堂の状況、広がりなど）

・あったかパントリーの概要（あったかパントリーができた背景、パントリーができる前の食材等の保管方法など）

②食材管理作業（パントリー）協力者からの立場から

ワークショップかぶらぎ(ビデオメッセージ)

・食材の寄付受入、仕分作業、寄付食材等の情報発信、取りまとめ、食材等の受け渡しなど、実際の作業一連の様子を放映

・ワークショップかぶらぎのパントリー活動の仕分け作業をする障がい当事者や職員の

方のメッセージを放映

- ③パントリーを利用する食堂の立場から あったか食堂ネットワーク副代表 唯 愛 氏
パントリーの仕組みができる前とできた後の子ども食堂活動の展開の変化や助かっていること、市民や企業、地域団体等とのつながりの視点等について発表
- ④こども食堂・地域食堂を利用する方の立場から 夕焼けごはん 中村 知亜希 氏
こども食堂に初めて足を運んで利用してみようと感じたきっかけや利用者からスタッフとして協力する立場に変わるようになった心境の変化、これからの活動で思い描くイメージ・ビジョンなどについて発表
- ⑤講評
国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野責任者 教授 小林 雅彦 氏

